



シリーズ  
タンチョウ  
Vol. 336

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

田中美晴

〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ

検索



## 幌呂小学校の高学年生によるタンチョウガイド

1月20日、幌呂小学校の総合学習（テーマ：鶴居のシンボル タンチョウのみりょくを知ろう、伝えよう）の一環として高学年によるタンチョウガイドがサンクチュアリ給餌場で行われました。この日のために子ども達はサンクチュアリを2度ほど訪れていました。1回目はタンチョウに関する勉強をしてガイドのための知識を蓄え、2回目は作成したタンチョウクイズをレンジャーに実演し、アドバイスを受けて本番に備えました。今回はその成果の様子をご紹介します。

当日、解説のためにやってきた高学年生は6人で、2人1組になってガイドを行いました。この日のために作成してきたタンチョウクイズの書かれたスケッチブックを持って、いざ解説開始です。まずは、「こんにちは。私たちは地元の幌呂小学校から来ました。タンチョウについてクイズをしながら説明したいのですがお時間ありますか?」と観光客に声を掛けることから始まりました。緊張した面持ちの6人でしたが積極的に声を掛けていて、これにはレンジャーも先生もびっくり。自分が小学高学年の時には、こんなに積極的になれなかったなあ…と感心しました。ガイドを始める時も、子ども達は積極的に声を出していました。「ジャジャーン!第1問!」と明るくクイズを読み上げたり、クイズに正解すると「おめでとうございます!!」と元気な声を出したりして場を盛り上げていました。

クイズの正解に関する解説をするときは、分かりやすく大きな声で伝えていました。そして、タンチョウの生態や現状に関する説明の時もしっかりとポイントを押さえて解説していました。もちろん、鶴居村の人々が長年にわたりタンチョウを守ってきた、という歴史を伝えることも忘れません。中にはタンチョウの翼を広げた大きさを実感してもらうために、同じ長さのテープを用意して広げて見せる工夫をする子もいました。ガイドを受けた観光客の方も、子ども達の熱心さや分かりやすく説明している姿に感銘を受けたのか、たくさんの質問をしていました。ガイド後は、観光客の人が「とても勉強になりました、ありがとう!」と笑顔で子ども達に伝えていました。そばで見守っていたレンジャーも、微笑ましい雰囲気にもまれ、とても素敵な1時間を過ごさせてもらいました。そして、一生懸命ガイドをする子ども達を見て、私も頑張らなければ!と気を引き締めた1時間でもありました。



晴れ晴れとした顔でガイド後の記念撮影!

ガイドを終えた子ども達の顔も、晴れ晴れとしていました。熱心に解説を聞いてくれる観光客の様子を見て、伝えることの楽しさや大切さを実感してくれたのではないのでしょうか。これで今年度の総合学習は終わりとなりますが、この経験を忘れず今後も鶴居村のシンボルであるタンチョウの魅力を様々な人に伝えていってもらえると嬉しいです。